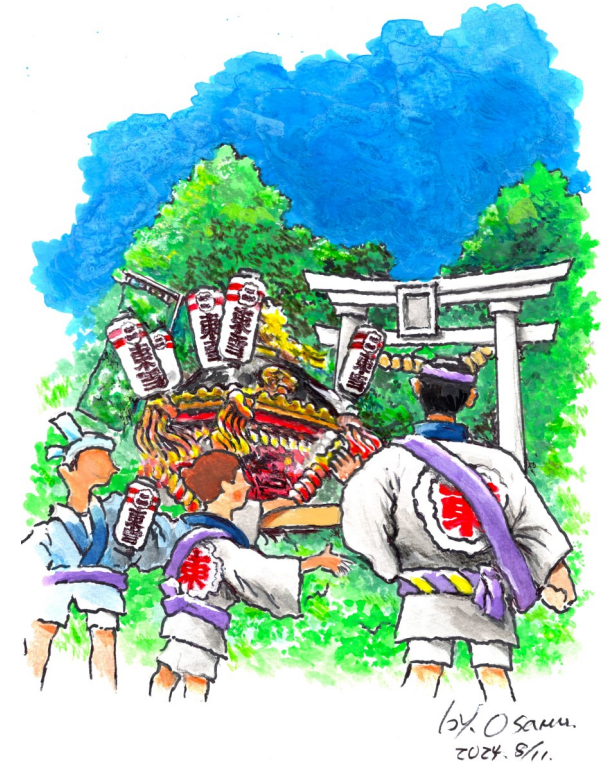


# ふれあい雪谷

令和6年10月 もみじ号 通巻第136号



雪ヶ谷八幡神社 例大祭

毎年9月中旬の土・日曜日開催。威勢の良い掛け声とともに神輿が町内を練り歩きます。平素は静かな境内に祭囃子が響き渡ります。たこ焼き・綿あめ 露店の灯り・・・この2日間は大人も子供も満面の笑顔です。

「ふれあい雪谷」のホームページはこちらからご覧いただけます。



## 自治会「ルー」記事：笹丸自治会 笹丸わんわんパトロール



以前より実施されている自治会の防犯パトロールに愛犬たちの参加は如何なものかと思いましたが、都のHPにそういう取り組みがあることを知り、役員会の承認を得てわんわんパトロールが始まりました。

毎週木曜日の午後2時に笹丸自治会館を出発し約3kmのパトロールです。レギュラーメンバーは、ジャックラッセルの美由樹（3歳）と柴犬のまさる（2歳）です。自治会以外のわんちゃん参加も自由なので、今までに3匹のわんちゃんが参加してくれました。はじめのうちは犬同士も牽制しあったりしますが、すぐに慣れてくれます。犬が苦手な会員の方もその可愛さに徐々に慣れてきて仲間として仲良く歩いています。途中で子ども達に会うと「わんちゃんだ！こんにちは！」と声をかけてくれます。

暑い時期は犬も人もきついので中止にしますが、犬と一緒にその勢いで足も速くなりパトロールが早く終わることもしばしばです。

途中リタイアも自由なので、ご自分の散歩の一部に組み入れていただくとパトロールに参加したことになります。登録していただいた方には都からわんわんパトロールのサッシュ（たすき）がプレゼントされます。パトロール途中のおやつタイムもあり、参加者同士の情報交換などもできとても有意義です。

詳しい情報は笹丸自治会のHPや公式LINEでも確認できます。たくさんのわんちゃん参加をお待ちしています。

（笹丸・菅井 淳子）

### \*\* 編集後記 \*\*

秋暑とはいえ、今年も猛暑で「あついですね」があいさつ代わりになっています。

もみじ号を無事発行することができました。今号も地域の情報がいっぱいです。

私事で恐縮ですが、相撲ファンでありながら、雪ヶ谷八幡神社の「泣き相撲」が毎年開催されていたとは・・・反省です。「名横綱大鵬関」に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

ともあれ、これからも皆様からいただいた、魅力ある情報を発信してまいります。ご期待ください。

（上池上・船山 康夫）

#### 【編集委員】

笹丸・小林 忠雄／雪谷石川台・長谷川 可織／希望ヶ丘・阿部 倫子／南雪谷・河野 洋一郎／東雪谷東中・小山 智恵子／東雪・永久保 美代子／池の台・柏 三八子／小池・小山 憲生／上池上・船山 康夫

ふれあい雪谷(創刊・平成2年12月20日) 年4回発行  
(1月・新年号／4月・さくら号／7月・あさがお号／10月・もみじ号)の1日発行  
【発行日】 令和6年 もみじ号 10月1日(通巻第136号) 発行  
【発行】 地域力推進雪谷地区委員会 [編集]ふれあい雪谷編集委員会  
【連絡先】 大田区地域力推進部雪谷特別出張所  
〒145-0065大田区東雪谷三丁目6番2号 ☎3729-5117 FAX3729-1826

## 「キャビン子ども食堂」訪問

当日は台風の接近によりあいにくの天気でしたが、あさがお号で紹介されたカフェキャビンに行ってきました。カフェキャビンは、南雪谷5丁目、圓長寺の向かいの住宅街にあり、子供が一人でも入れる「キャビン子ども食堂」は毎月最終金曜日に開催されます。

食堂スペースはカウンターも含めて15人くらいが座れる広さで、時にはホームパーティーやミニコンサートなども開かれるそうです。当日はまだ夏休み中でしたので、子供たちへのアンケートにより特別メニューとしてハンバーグ弁当が準備されていました。お弁当は内容が少し異なる数種類が用意され、アレルギー対策を考慮したものもありました。普段は食堂で食べていく人もいますが、お弁当の場合はすべてお持ち帰りということでした。

普段のメニューは大人用と子供用の辛さの異なる2種類のカレーライスで、大きななべで7つ、150人分を調理します。食堂では主宰の井上さん、オーナーの柳原さん（主催の母上）の他、あさがお号の記事を見て新たに参加した方も含め、ボランティア3名が働いており、そのほか、食材の前処理・お皿洗いなどで数名の方が関わっているそうです。

訪れるお客さんには、お弁当になんと2kgのお米を付けていました！ボランティアの方々に助けていただくほか、食材の年間契約による購入などにより経費をできるだけ切り詰めています。それでも行政からの補助金ではとても足りず、不用品の回収・販売で得た利益を補填しているそうです。がんばれ「キャビン子ども食堂」！

（南雪谷・河野 洋一郎）



カフェキャビンで働く皆さん

## 雪ヶ谷の鎮守様 雪ヶ谷八幡神社の「泣き相撲」

今回は、当社年中行事の一つ、赤ちゃんの「泣き相撲」についてご紹介させていただきます。

泣き相撲の起源は不詳ですが、古く平安時代に行われ、赤子の鳴き声が邪を払ったという故事に由来すると言われております。神聖な土俵の上で赤ちゃんを元気に泣かせることで、赤子の成長と健康を祈願する日本の伝統行事です。

境内には「出世石」と刻まれた大石があります。これは不世出の大横綱「大鵬関」が、立身出世は雪ヶ谷八幡神社のお蔭と揮毫し手形とともに奉納され、大石に刻み込んだものです。当時は毎年節分豆まきに参加されており、その姿を一目見ようと多くの人で境内は埋め尽くされたそうです。

こうした相撲との所縁から、毎年4月29日、たくさんの「このぼり」が元気に泳ぐ境内にて「泣き相撲」を開催し、池上にある大相撲「尾上部屋」の力士の来場を頂き、毎年100名を超える多くの赤ちゃんが泣き相撲に参加されます。

「泣く子は育つ」。土俵で力士に力強く高らかに抱き上げられ、赤ちゃんの元気いっぱいの泣き声が境内に響き渡ります。その愛らしい泣き声と一生懸命な姿に胸を打たれ、成長と幸せを願わずにはいられません。

当日は社殿での成長祈願のご祈祷、「出世石」前では大鵬関にあやかり健康と成長を祈念する四股踏み、大太鼓にのって大きく育てと祈念する背伸び太鼓、手形押しなどが行われ、田園調布消防署雪谷出張所のご協力により「乳幼児救急救命」も実演されます。

赤ちゃんには御守やお土産をお渡しし、参加されたご家族からは、「とても楽しい」「いっぱい泣いて夜ぐっすり寝てくれました」とのお言葉を頂いています。

大鵬関ゆかりの当社での泣き相撲、ぜひかわいい赤ちゃんの応援にお越しください。

(希望ヶ丘・北川 正訓)



泣き相撲の様子

## 勝海舟記念館！ おかげさまで開館5周年！

こんにちは。勝海舟記念館長の曾田暁（そた さとる）です。地元雪谷地区の皆様には、日ごろから当館をご愛顧頂き、本当にありがとうございます！

さて、早いもので、今年9月7日（土）、開館5周年を無事に迎えることができました。

今回は、ふれあい雪谷の紙面をお借りし、現在開催中の特別記念展と、普段読者の皆さまは触れることの少ない学芸員の活躍の様子について、ご紹介させていただきます。

まずは、特別展についてです。これまで当館は、多くの方々からのご寄附を活用して海舟ゆかりの歴史資料を収集・修復してまいりました。今回は、要塞術や築城方法を記した海舟直筆のノートなど、昨今の調査研究により新たに見出された資料を選びすぐり初公開しています。海舟の生涯の知られざる一幕をお楽しみいただくと共に、修復等の取り組みについても理解や関心を深めることができる内容となっております。

真夏の暑さも峠を越え、連日多くの方にお越しいただいております！11月10日（日）までの会期です。ぜひお越しください！

また、このような展示会の開催に際しては、当館学芸員の活躍無くしては語ることはできません。当館には3名の学芸員が在籍し、それぞれの得意分野を活かし、資料の収集・整理や展示、調査研究等の業務に鋭意取り組んでおります。学芸員の仕事を写真とともにご紹介致します。

特別展の情報はこちらのQRコードから！



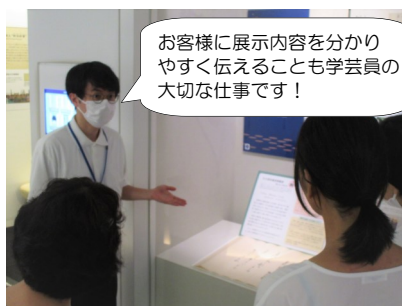
曾田館長と学芸員



日々の研究（星川学芸員）



資料展示（稲垣学芸員）



ギャラリートーク（富井学芸員）

## 東中にこども忍者がやって来た！

6月23日（日）、東雪谷東中自治会で恒例の「新入学児童を祝う会」を開催しました。梅雨入り直後であいにくの雨模様のため、東中公園は諦めて室内のみでの開催となりましたが、小学校の新1・2年生に未就学のきょうだいも加わり16名が参加してくれました。

今回は“忍者修行”がテーマ。映画やドラマでは派手な活躍を見せる忍者たちも、ふだんは厳しい修行を頑張っているんだよ、という趣向です。お揃いの黄色い“とうなか”Tシャツに身を包み、ネックウォーマーと黒マスクで変身したこどもたちが東中忍者道場入門し、「観察力」「記憶力」「体内時計」「数字」「整頓」「手裏剣」の6つの修行を体験しました。

3×3のマス目に書かれた数字を憶えて隠された数字を当てる「数字」の修行では、周りのおとなが悩むのを尻目に即答することもたちの暗記力に驚かされたり、脱いだ服をたたむ「整頓」の修行に熱中したり、折り紙でつくった手裏剣での的当てには意外な腕前を発揮したり、はたまた自分で忍者装束を購入して頭領役を務めた役員もいたり、運営側にも色々な学びがあった一日でした。

最後になりますが、今回の企画をご紹介いただいた目黒区の青少年委員会の皆様に、この場を借りて御礼を申し上げます。

(東雪谷東中・江口 潤司)



手裏剣大会の様子



整頓の修行



忍者と一緒に、はいチーズ！

